

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600755	事業の開始年月日	平成16年8月1日	
		指定年月日	平成16年8月1日	
法人名	医療法人 社団芳洋会			
事業所名	グループホーム やすらぎ			
所在地	(245-0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町7315-7			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年9月9日	評価結果 市町村受理日	平成23年3月28日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473600755&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは医療法人によって運営され、同じ建物内にはクリニックがあり、高齢者医療に長年関わっている医師が常駐しております。健康面、医療面に不安を持たれていらっしゃる利用者様、ご家族様から大変多くのお問い合わせを頂いております。実際のご利用者、ご家族様からも非常に安心できるとの声を非常に多く頂いております。また、近隣にも同法人の病院施設や介護老人保健施設もあり、協力体制も整えられています。今後も安心できる医療サービスと介護サービスが提供できるよう努めていきたいと思っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾌｵｰﾑ 3階		
訪問調査日	平成22年9月29日	評価機関 評価決定日	平成22年11月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは横浜市の郊外、泉区と瀬谷区の境界部にあります。相模鉄道いずみ野線いずみ野駅からバスで5分の新興住宅地の一角の端に位置します。建物は4階建ての鉄筋コンクリート造りで、1階が同法人のクリニック、その2・3階がグループホームやすらぎです。

<優れている点>利用者の要望から、利用者と職員の交換日誌が始まりました。現在、複数の利用者と職員の交換日誌を行っています。利用者がその日感じたこと、やってほしいことや買いたい物など自分で書き、翌朝、職員に渡します。職員も書かれたことに対し、出来る出さないを理由を含め、また感じたことに対する回答を同じページに書いて返却します。このように毎日、続けられています。利用者が字を書くことは利用者の手を使い、頭を使うこととなります。また、利用者の色々な思いや、要望が把握できるようになりました。職員と利用者の距離を縮めることもなり、今後さらに成果が上がることも期待されます。

<工夫している点>2010年の夏は猛暑が続き非常に厳しい気候で、外出支援も難しい日が続きました。そういう中で職員の提案で、「東海道53次」というイベントを行っています。廊下の壁に東海道53次の絵が貼られています。その階の利用者みんなで廊下を端から端まで職員と歩いたり、車いすで移動することにより到達した宿場までが印が付けられます。職員の提案が活かされ、職員と利用者と一緒に行動できるように工夫しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム やすらぎ
ユニット名	2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに掲示し、スタッフ全員のネームプレートの裏に理念を記載し、共有と実現に向けている。	新入職員研修で理念から説明しています。理念をスタッフルーム、エレベーターホールなど目のつく所に掲示しています。職員のネームプレート裏にも理念が書かれており、朝の申し送り時も理念について話しています。管理者・職員ともに理念を共有しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントに定期的に参加し、今後は清掃活動等、日・祭日の活動に関して、少しずつ参加を検討している。	夏祭りは利用者みんなが楽しんで参加しています。また、地域清掃活動・地域防災活動などには職員が参加しています。地域のボランティアの方による読み聞かせの活動もあります。自治会長とも地域活動のつきあい方について相談しています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	イベント開催等を、地域の回覧板にて参加者を募り、コミュニケーションを図っているが、まだまだ関わりが少ないのが現状。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方や行政・関係機関の関係者様から、要望や提案があった場合は検討を行ない、改善に生かしている。	利用者・利用者家族・地域・行政・オブザーバーの参加を頂き、年3回行うようにしています。以前この会議で、このグループホームはクリニックの上であり、目立ちにくいとの指摘があり、大きい字で書いた看板を目立つ場所に設置しています。	運営推進会議は地域・行政を巻き込み、理解と支援を得る為にも有意義です。メンバーの定着するよう更に活発な働きかけを行い、実施回数を増やせるように工夫する事が期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や研修会・定例会を通じて協力体制を築いている。また自己又区からの依頼で相談員等の受け入れを積極的に受けている。	市との連携は密です。運営推進会議・研修会・定例会及び利用者の状況から市担当者との協力体制を築いています。区役所には毎月1回以上行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中に関しては、施錠を行っていないが、夜間は職員が一人になってしまし、高層階にホームがある為、安全面を考慮した対応を心掛けている。その他、感知センサーを取り付け、危険個所に行かれないよう注意を払っている。	研修を実施し、職員の理解を得ています。日中は、施錠を行っていません。ホーム2階と3階それぞれに出入り口があり、得れバスターと面した所にあるので、出入り口のドアノブやガラス戸などに危険防止の工夫をしています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝の申し送りや、休憩時間等、日頃から話題に取り上げ、注意を行なっている。マニュアルも作成し、いつでも閲覧できるように環境を整えている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修に年に数回参加している。ただし、選挙権を失ってしまう等のデメリットもある為、慎重に対応していきたい。単身者であるからこそ、第三者からの視点も必要だが、第三者の質自体の向上も訴えていきたい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前・契約時等、繰り返しご説明させて頂いている。また、何かあった場合はその都度再度ご説明させて頂き、ご理解を求めている。又、説明自体が長時間かかってしまう。難しい言葉があり、正確に伝わらないこともある為、分かりやすく説明できるよう心掛けている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置や外部相談員の受入を行ない、広く意見を求めている。法人で受けたご意見に関しては全ての事業所でも検討し、グループ全体で改善するよう努めている。	相談苦情窓口を掲示すると共に苦情箱を設置していますが、今まで苦情はありません。外部相談員の来所が月1回あります。また、利用者の意見・希望・要望は人によって多い方もおり、交換日記を行い、利用者や職員とのコミュニケーションを図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に会議を開催し、運営に関する方針や運営状態を傳達している。</p>	<p>ミーティングは週1回、カンファレンス、業務会議をそれぞれ月1回開催し、職員が意見や提案を言う機会は多くあります。また、日常から意見や要望が自由に言える雰囲気を作られています。特に提案等で実施した例がイベント関係で多くあります。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフの向上心次第で、責任者への就任、新規事業の参加、部署の転換など、上を目指せる環境が整えられている。</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内・外研修には年に数回、開催・参加が出来るような体制は整えられている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同法人・別法人問わず、近隣施設との関わりは重要視している。情報交換であったり、見学などを通じてコミュニケーションを図っている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談を密に行なうことにより、安心してご入居出来るよう心掛けている。全ての不安や要望を叶えることが難しいケースもあるが、出来る限りのことは対応させていただくように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談を密に行なうことにより、安心してご入居出来るよう心掛けている。全ての不安や要望を叶えることが難しいケースもあるが、出来る限りのことは対応させていただくように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームで出来る事、他のサービスで出来ることをお伝えし、ご利用者様・関係者様が選択できるように支援させて頂いている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様と協力し、ホームの清掃や環境整備が出来るよう日々努めている。また、利用者様毎に求められている対応が異なる為、個々に合ったサービス提供が出来るよう心掛けている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に対しては面会時や電話による生活状況のご報告をさせて頂いている。出来る限り、繋がりが保てるようご利用者様・ご家族様のご協力をお願いしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人等に電話をする機会を設けている。馴染みの場所への支援についてはかなり遠方をご希望されるケースが多く、対応にしきれていない。	本人から要望のあった馴染みのファミリーレストランに他の利用者と一緒に行ったり、昔馴染みの寿司職人が来訪し、他の利用者と一緒握り寿司を楽しんだりしています。家族の要望でお墓参りを支援したこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やおやつの時間を利用して、共有できる時間を作らせて頂いている。ご利用者様同士の関係については非常にデリケートな部分である為、注意して対応させて頂いている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、ご家族様よりご相談を受けるケースはあり、その際は、少しでもお力になれるよう対応させて頂いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話や、面談時にお話を伺い、ご希望が叶うようスタッフ全員で対応させて頂いている。	本人自ら希望や意向を表す場面が少ないので、利用者の興味のあるような話をしたり、態度や表情などから察知して対処するようにしています。また、数人の利用者や職員が交換日記を行うようになり、色々な思いや要望が把握出来るようになっていきます。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様や関係者様から出来る限り情報を伺うよう対応している。時には行政の方にもご協力をお願いすることもある。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況や過ごし方を記録に残し、スタッフが共有できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状況に合わせた目標が立てられるよう努めている。又、ケース会議などを通じて、スタッフ・関係者等に意見を求め、より良いサービスにつながるよう、計画を作成している。</p>	<p>毎月モニタリングを行い、計画の評価を実施し、現状に即した介護計画を作成しています。職員参加のカンファレンスの中で、本人・家族の希望や看護師の意見を取り入れながら介護計画を作成しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を記入し、共有できるよう努めている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>対応できる範囲内でサービス提供をさせて頂いている。又、必要時には近隣施設・関係機関に相談させて頂き、協力してニーズに対応していけるよう努めている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>外出時等に近隣の方や、お店の方に顔とホームを知って頂き、地域の輪から疎遠にならないよう、心掛けている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>出来る限り、ご本人様やご家族様のご希望に沿った医療サービスが受けられるよう対応させて頂いている。ご利用様が安心して生活が維持できるよう、時には他の医療機関に相談させて頂いている。</p>	<p>本人・家族の了解を得て、かかりつけ医は事業所と同一建物内にある法人の医療機関としています。内科の往診は月2回、歯科医は医院による送迎と往診があります。また専門医が必要な場合は通院支援を行うなど、適切な医療が受診できる体制を整えています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に見護師による訪問を行なっている、その際、日々の変化や身体状況について情報交換を行ない、対応を検討させて頂いている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とは日頃から関係を築いており、情報交換や相談をさせて頂いている。研修会などの交流を持たせて頂いている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時はもちろん、定期的に話し合いの場を設けている。また、関係者に対しても出来る限りの協力をして頂けるよう努めている。	事業所の基本方針として終末期のケアは予定していません。利用者、家族とは契約時に話し合い理解を得ています。重度化や急変時の場合については、家族の意向を踏まえて支援していくこととしています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に依頼し、ホーム内にて研修をして頂いている。それ以外でも勉強会などで確認を行ない、対応できるよう努めている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な防災訓練とともに、自治会長等と非常時について話し合いの場を、運営推進会議等を利用して作っている。	避難・初期消火訓練などを実施しています。また、地域合同の防災訓練に参加すると共に自治会長とも非常時の協力について話し合っています。職員に対し、非常用設備機器の操作訓練を年2回行い、実施から操作を忘れないよう年4回の実施に増やそうと検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	専門職としての側面と共に生活してく者としての対応に困惑してしまう場面も見られるが、マナー研修を通じて定期的に確認し合っている。	職員が利用者と親しくなることは大切なことです。さらに親しくなる中で利用者に対して年長者としての敬意を払うことに欠けたり、プライバシーを損ねる言葉かけがないように、職員に対し、色々なケースのマナー研修を行って、対応しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自ら発言がしにくい方や、自己決定しづらい方については、選択制にしたり、出来る限り自己表現が出来るよう試行錯誤させて頂いている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間指定のある希望については、対応できないケースもある。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常着や外出着等を分けたり、お祭りの時には浴衣を着る等、状況に合った支援が出来るよう努めている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の関係性に配慮しつつ、下前や配膳など、出来ることについては協力して頂いている。	利用者は食材の下ごしらえ、配膳など、出来ることを職員と一緒にしています。イベント食は特に利用者から好評を得ています。所内での好み焼き、ハンバーガーお子様セットのお土産付きを買ってきて食べます。また、花見の時も外で食事をします。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分摂取量を把握し、バランスが崩れないよう配慮を行なっている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>1人1人に合った口腔ケアが出来るよう努めている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>日中・夜間の心身状況に合わせた対応を心掛けている。排泄パターンについては、記録を残し把握できるよう努めている。</p>	<p>職員の対応で排泄の自立支援を行っています。排泄の記録を取り、排泄パターンをつかむように努力しており、利用者個人に対してのきめ細かい対応を心がけて支援しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>医師や看護師の意見頂きながら、適度な運動や食事療法でも対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の状況に合わせた支援が出来るよう心掛けている。入浴拒否や1人で入りたくない方等に対して、環境を変える、仲の良い方と一緒に入るなど試行錯誤している。</p>	<p>週2回の入浴としています。個浴を中心にしてはいますが、1人で入りたくない方、仲の良い方と一緒に入りたい方について一緒に入るなど、検討し実施しています。入りたがらない方については環境を変える、職員の臨機応変の対応などで入るよう工夫しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースの把握に努め、安心して生活が維持できるよう努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関する情報についてはスタッフは常に確認している。薬の変更等があった場合も情報共有が出来るよう努めている。症状に変化が見られた場合については看護師に相談する体制が整えられている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の力が発揮できる機会を作らせた頂いている。掃除・洗濯など日常生活の中で自然に継続できることを心掛けている。嗜好品等については健康管理上支障がない程度で、ご利用者様と相談しながら対応させて頂いている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物についてはその都度対応させて頂いている。遠方に関しては、今後イベントなどを利用して検討していきたい。	近隣の公園まで散歩に行ったり、近くの大型店まで買物に出かけたりしています。また、イベントとして、動物園や花見に行ったり、初詣に近くの神社などに出かけたりしています。利用者個人の希望での外出支援についても対応しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方については、紛失しても生活に影響のない範囲でお願いしている。又、支払時、スタッフが払うのではなく、ご利用者様にお願いする等の支援をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りについては自由に行なっている。ボタンを押せない、うまく字が書けない方については必要な支援を心掛けている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームがコンクリート造りであり、つめたい印象がある為、出来る限り明るく、季節感のある環境が整えられるよう努めている。又刺激については常に注意し、安心して生活出来るよう心掛けている。	共用の空間である居間は外からの光も良く当たり、清潔で、きれいです。また、窓の開閉も安全を見ながら実施し、空気の浄化に努めています。廊下の壁にはイベントの写真やイベントの計画など、季節を意識できるものを掲示しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子、畳など思い思いに過ごせられるよう配慮している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、思い出の品をホームに持ち込んで頂く、買い物は同行して本人の好みの物をそろえる等の配慮を行なっている。	居室は和室もありますが、洋室がほとんどでクローゼット、洗面台、エアコンなどが設置され、使い慣れた物や思い出の物が持ち込まれています。居室内での必要な物は、隣の大型店で購入できるため、職員が同行して本人の好みの物をそろえる配慮を行っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々に合わせた対応を心掛け、本人の力を発揮できる環境を作れるように心掛けている。		

事業所名	グループホーム やすらぎ
ユニット名	2階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>スタッフルームに掲示し、スタッフ全員のネームプレートの裏に理念を記載し、共有と実現に向けている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域のイベントに定期的に参加し、今後は清掃活動等、日・祭日の活動に関して、少しずつ参加を検討している。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>イベント開催等を、地域の回覧板にて参加者を募り、コミュニケーションを図っているが、まだまだ関わりが少ないのが現状。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の方や行政・関係機関の関係者様から、要望や提案があった場合は検討を行ない、改善に生かしている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や研修会・定例会を通じて協力体制を築いている。また自己又区からの依頼で相談員等の受け入れを積極的に受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中に関しては、施錠を行っていないが、夜間は職員が一人になってしまし、高層階にホームがある為、安全面を考慮した対応を心掛けている。その他、感知センサーを取り付け、危険個所に行かれないよう注意を払っている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	朝の申し送りや、休憩時間等、日頃から話題に取り上げ、注意を行なっている。マニュアルも作成し、いつでも閲覧できるような環境を整えている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修に年に数回参加している。ただし、選挙権を失ってしまう等のデメリットもある為、慎重に対応していきたい。単身者であるからこそ、第三者からの視点も必要だが、第三者の質自体の向上も訴えていきたい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前・契約時等、繰り返しご説明させて頂いている。また、何かあった場合はその都度再度ご説明させて頂き、ご理解を求めている。又、説明自体が長時間かかってしまう。難しい言葉があり、正確に伝わらないこともある為、分かりやすく説明できるよう心掛けている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置や外部相談員の受入を行ない、広く意見を求めている。法人で受けたご意見に関しては全ての事業所でも検討し、グループ全体で改善するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議を開催し、運営に関する方針や運営状態を傳達している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの向上心次第で、責任者への就任、新規事業の参加、部署の転換など、上を目指せる環境が整えられている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内・外研修には年に数回、開催・参加が出来るような体制は整えられている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人・別法人問わず、近隣施設との関わりは重要視している。情報交換であったり、見学などを通じてコミュニケーションを図っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を密に行なうことにより、安心してご入居出来るよう心掛けている。全ての不安や要望を叶えることが難しいケースもあるが、出来る限りのことは対応させていただくように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談を密に行なうことにより、安心してご入居出来るよう心掛けている。全ての不安や要望を叶えることが難しいケースもあるが、出来る限りのことは対応させていただくように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームで出来る事、他のサービスで出来ることをお伝えし、ご利用者様・関係者様が選択できるように支援させて頂いている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様と協力し、ホームの清掃や環境整備が出来るよう日々努めている。また、利用者様毎に求められている対応が異なる為、個々に合ったサービス提供が出来るよう心掛けている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に対しては面会時や電話による生活状況のご報告をさせて頂いている。出来る限り、繋がりが保てるようご利用者様・ご家族様のご協力をお願いしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人等に電話をする機会を設けている。馴染みの場所への支援についてはかなり遠方をご希望されるケースが多く、対応にしきれしていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やおやつの時間を利用して、共有できる時間を作らせて頂いている。ご利用者様同士の関係については非常にデリケートな部分である為、注意して対応させて頂いている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、ご家族様よりご相談を受けるケースはあり、その際は、少しでもお力になれるよう対応させて頂いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話や、面談時にお話を伺い、ご希望が叶うようスタッフ全員で対応させて頂いている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様や関係者様から出来る限り情報を伺うよう対応している。時には行政の方にもご協力をお願いすることもある。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況や過ごし方を記録に残し、スタッフが共有できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状況に合わせた目標が立てられるよう努めている。又、ケース会議などを通じて、スタッフ・関係者等に意見を求め、より良いサービスにつながるよう、計画を作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を記入し、共有できるよう努めている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>対応できる範囲内でサービス提供をさせて頂いている。又、必要時には近隣施設・関係機関に相談させて頂き、協力してニーズに対応していけるよう努めている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>外出時等に近隣の方や、お店の方に顔とホームを知って頂き、地域の輪から疎遠にならないよう、心掛けている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>出来る限り、ご本人様やご家族様のご希望に沿った医療サービスが受けられるよう対応させて頂いている。ご利用様が安心して生活が維持できるよう、時には他の医療機関に相談させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に看護師による訪問を行なっている、その際、日々の変化や身体状況について情報交換を行ない、対応を検討させて頂いている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とは日頃から関係を築いており、情報交換や相談をさせて頂いている。研修会などの交流を持たせて頂いている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時はもちろん、定期的に話し合いの場を設けている。また、関係者に対しても出来る限りの協力をして頂けるよう努めている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に依頼し、ホーム内にて研修をして頂いている。それ以外でも勉強会などで確認を行ない、対応できるよう努めている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な防災訓練とともに、自治会長等と非常時について話し合いの場を、運営推進会議等を利用して作っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	専門職としての側面と共に生活してく者としての対応に困惑してしまう場面も見られるが、マナー研修を通じて定期的に確認し合っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自ら発言がしにくい方や、自己決定しづらい方については、選択制にしたリ、出来る限り自己表現が出来るよう試行錯誤させて頂いている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間指定のある希望については、対応できないケースもある。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常着や外出着等を分けたり、お祭りの時には浴衣を着る等、状況に合った支援が出来るよう努めている。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の関係性に配慮しつつ、下前や配膳など、出来ることについては協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を把握し、バランスが崩れないよう配慮を行なっている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人1人に合った口腔ケアが出来るよう努めている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中・夜間の心身状況に合わせた対応を心掛けている。排泄パターンについては、記録を残し把握できるよう努めている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師や看護師の意見頂きながら、適度な運動や食事療法でも対応している。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の状況に合わせた支援が出来るよう心掛けている。入浴拒否や1人で入りたくない方等に対して、環境を変える、仲の良い方と一緒にするなど試行錯誤している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースの把握に努め、安心して生活が維持できるよう努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関する情報についてはスタッフは常に確認している。薬の変更等があった場合も情報共有が出来るよう努めている。症状に変化が見られた場合については看護師に相談する体制が整えられている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の力が発揮できる機会を作らさせていただいている。掃除・洗濯など日常生活の中で自然に継続できることを心掛けている。嗜好品等については健康管理上支障がない程度で、ご利用者様と相談しながら対応させていただいている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物についてはその都度対応させていただいている。遠方に関しては、今後イベントなどを利用して検討していきたい。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方については、紛失しても生活に影響のない範囲でお願いしている。又、支払時、スタッフが払うのではなく、ご利用者様にお願いする等の支援をさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りについては自由に行なっている。ボタンを押せない、うまく字が書けない方については必要な支援を心掛けている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームがコンクリート造りであり、つめたい印象がある為、出来る限り明るく、季節感のある環境が整えられるよう努めている。又刺激については常に注意し、安心して生活が出来るよう心掛けている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子、畳など思い思いに過ごせられるよう配慮している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、思い出の品をホームに持ち込んで頂く、買い物は同行して本人の好みの物をそろえる等の配慮を行なっている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々に合わせた対応を心掛け、本人の力を発揮できる環境を作れるように心掛けている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議開催頻度4ヶ月に1回、年3回開催	運営推進会議開催を3カ月に1回、年4回の開催を目指す。	定期開催を目指し、開催内容についても再検討を継続的に行っていく。	12ヶ月
2	34	対応方法は知っているが、いざ対応しようと動くと焦りやミスが見られてる。	全職員が、冷静かつ適切な動きが出来るようさらに技術を磨く。	勉強会・実技指導の回数を増やしていく。	12ヶ月
3	35	同上	同上	同上	12ヶ月
4	38	まだまだ職員のペースで対応している場面が見られている。	利用者様のペースに、運営自体に支障がないよう出来る限り対応を心掛けていく。	業務全体の見直し及び、職員の意識改善に取り組んでいく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。